

第17回 最先端脳科学セミナー

セル・アセンブリー(細胞集成体)を もたらず分子メカニズム

演者: **八木 健 教授**

大阪大学 大学院 生命機能研究科
時空生物学講座 心生物学研究室

日時: 2014年8月29日(金) 17:00~18:30

場所: 薬学部研究棟Ⅱ 7階 セミナー室8

要旨

脳は莫大な情報を処理し、記憶する。脳における情報処理の基盤は、神経細胞の活動にあり、個々の神経細胞が個性的な振る舞いをしながら、集団的に活動している。この神経細胞の集団的活動をセル・アセンブリという。近年の研究により、セル・アセンブリの基盤には、個々の神経細胞がつくるランダムで集団性の高い神経回路の特性があると考えられている。クラスター型プロトカドヘリンは、脳で発現する50種類を超える多様化膜タンパク質であり、細胞相互作用に関わる分子群である。このクラスター型プロトカドヘリンは、個々の神経細胞においてランダムな組み合わせ発現をしていることが明らかとなった。本セミナーでは、セル・アセンブリをもたらず分子的基盤とクラスター型プロトカドヘリンとの関係について議論したい。

※ 本セミナーは、大学院の単位認定の対象となります。

主催: 医・生化学 井ノ口 馨
第17回セミナー世話人: 医・生化学 佐野 良威 内線 7227